

厚木市立病院における 新病院建設事業について

厚木市立病院
事務部門 医事課主任
(診療情報管理室長) 内田 晃

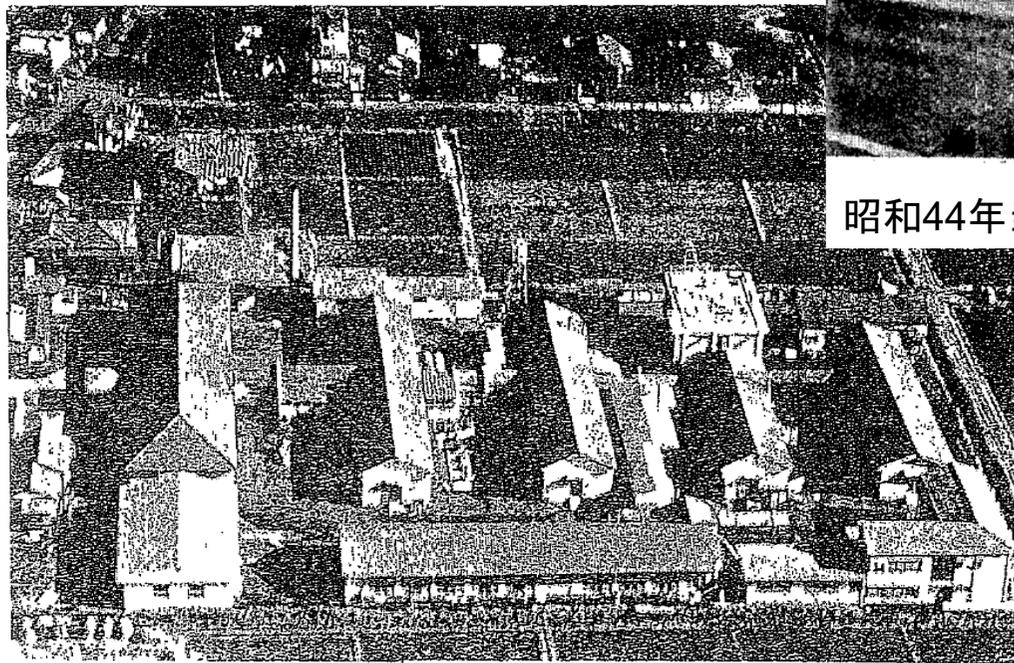
- 1 神奈川県立厚木病院から厚木市立病院へ
- 2 新病院建設計画の経過について
- 3 新病院建設工事工程について
- 4 新病院における経営改善の取組みについて

1 神奈川県立厚木病院から厚木市立病院へ

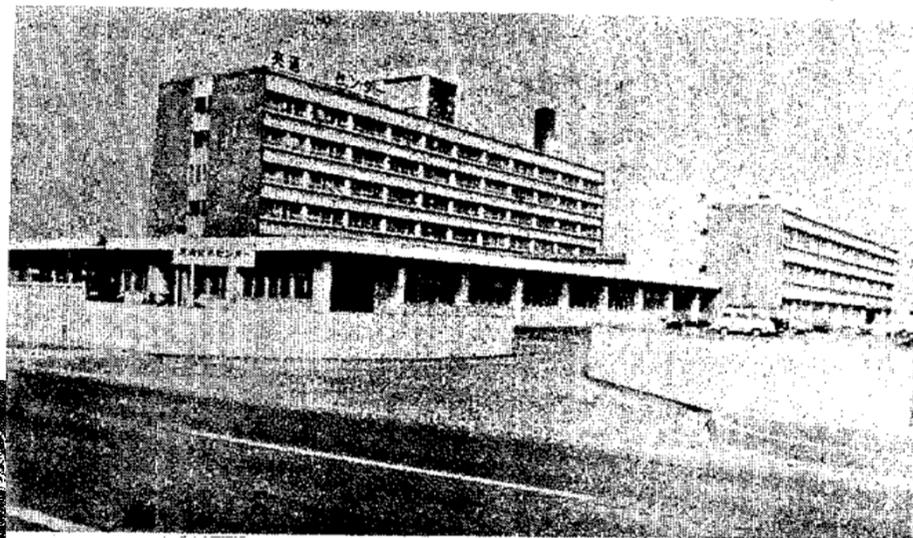
昭和26年10月 県立厚木病院開設



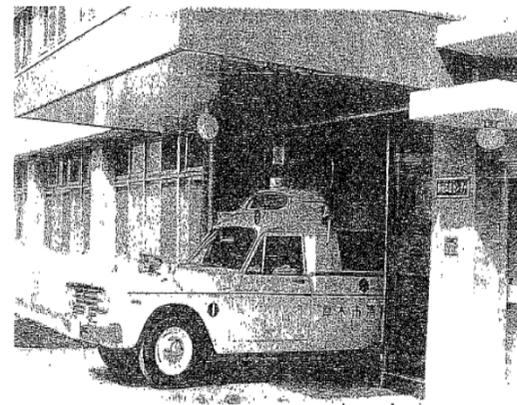
- 昭和26年10月15日
- 厚木市及び近隣市町村の強い要請により病床過疎地区の医療対策の一環として開設された。
- 開設当初は内科、小児科、外科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科の6診療科、51床の総合病院
- 初代院長
尾形正治
- 総看護婦長
長岡いせ



昭和34年当時の病院



昭和44年当時の病院



昭和44年3月東名高速道路の開通に
合わせ交通救急センター完成

平成10年 県立病院経営計画(平成10年策定)により県立県営
方式の見直しが進められる。

神奈川県は、県立病院の在り方を検討、
厚木病院を厚木市に移譲を決定

平成15年4月 厚木市立病院開設



- 平成15年4月1日
神奈川県から移譲
- 病床数 356床
 - 一般 350床
 - 感染症 6床
- 診療科 15科
- 院長
岡部武史
- 看護局長
小川益美

2 新病院建設計画の経過について

- 平成22年 4月 厚木市立病院整備基本計画策定について
- 平成23年 3月 今後の厚木市立病院の運営形態について
- 平成23年 6月 厚木市立病院の全部適用移行作業について
厚木市立病院建設整備基本計画について
- 平成23年 12月 厚木市立病院地方公営企業法全部適用の移行について
- 平成24年 1月 厚木市立病院建設工事に伴う工事請負業者の選定方法について
- 平成24年 3月 厚木市立病院の全部適用移行作業について駐車場有料化について
平成24年度厚木市立病院の組織について
- 平成24年 4月 新・厚木市立病院運営方針及び厚木市立病院経営計画について
厚木市立病院建設工事の総合評価方式による入札について

I 現状と経過

1 医療圏の状況

- (1) 県央医療圏には、3次医療を担う医療機関や、救急救命センター、がん診療連携拠点病院、周産期母子医療センターといった地域の拠点病院が存在しない。
- (2) 2次医療機関として救急医療の中核を担っているが、ICUがなく、手術件数や救急の受け入れ率を高めることが困難。
- (3) 県央医療圏内の医療ネットワークは2次医療機関の連携による輪番体制である。
- (4) 市民満足度調査では、市立病院の適正な運営と地域医療の充実が求められている。
- (5) 市民意識調査では、診療所からの紹介や入院・救急時に受診する病院として2次医療を提供する中核病院のイメージを持っている。

2 建替えの必要性

(1) 敷地内の施設は、昭和40年以降のものであり、本館が築45年であり、現在の医療法の基準に適合していない。

3 検討経過

(1) 病院整備の検討は、平成16年度に設置された厚木市立病院整備検討協議会において開始された。

(2) 平成17年5月には、建替えの必要性について同協議会報告書が提出された。

(3) 平成21年4月において医療の専門家による厚木市立病院整備専門委員会が設置され、同委員会検討報告書が提出され、市としての整備計画を明らかにするために基本計画を策定した。

II 新病院の全体像

新病院整備のコンセプト

救急、小児、周産期、がん、災害医療など、公立病院として、引き続き地域医療の中心的役割を果たし続ける病院を整備する。

現在地建て替えのため、入院患者、通院患者の負担を最小化するとともに、医療機能を低下させない施設建設を行う。

長期の維持管理を視野に入れ、コストと環境負荷の低減を図る最適な施設整備をする。

診療科目

内科（消化器・肝臓内科、呼吸器内科、腎高血圧内科、内分泌・代謝内科、神経内科）、循環器内科、精神科、小児科、外科（消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科）、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科〔新規〕、救急部〔新規〕

標榜診療科は現在の15診療科に新たにリハビリテーション科と救急部を加えた17診療科（ ）内はサブスペシャリティを基本とする。

病床数

新病院の病床数は345床とする。

	新病院	現病院	増減
一般病床	319床	340床	－21床
ICU病床	5床		+ 5床
CCU病床	5床		+ 5床
救急病床	10床	10床	
感染症病床	6床	6床	
合計	345床	356床	－11床

III 施設整備計画

1 建設場所

(1) 新病院の建設場所は、現在地とする。

- ・本市では、市街化区域内に広い土地を確保することが困難であり、現在地での建て替えは、コスト的にも整備の短期化という点でも優位である。
- ・現在地建て替えについては、近年、多くの病院が現在地建て替えを実現しており、様々な工法があるが、市立病院では他の公共施設と異なり医療機関であることを重視し、コスト面や後期面だけでなく、工事期間中の医療機能の低下と入院・外来患者への負担の最小化できる工法を選択した。

計画地	厚木市水引1丁目199番
敷地面積	19.432.8㎡
都市計画区域	都市計画区域内（市街化区域）
用途区域	第一種住居区域、近隣商業区域
防火区域	準防火区域
建蔽率	60%（第一種住居区域）、80%（近隣商業区域）
容積率	200%（第一種住居区域）、300%（近隣商業区域）
前面道路	国道129号線246号バイパス（幅員：約30m）

2 建設・整備計画

(1) 災害耐性の強化とファシリティ・マネジメントの導入。

- ・市民の安心安全を支える災害医療拠点病院として、災害に強い病院づくりを進めるに当たり、災害時の機能確保を想定して施設を整備する。
- ・災害耐性を高めるため、施設については免震構造とし、オール電化の導入（ヒートポンプ・蓄熱タンク）など、トータルコストや環境負荷の低減と、災害時の復旧日数などを考慮した施設設計を図る。また、ライフラインは二重化する。

(2) 戦略的・効率的な施設整備

- ・医療を提供する場として、安全性、機能性、効率性を重視するため、各部門の実際の運営形態を考えた建設形態とする。
- ・救急医療の強化と効率化のため、救急外来と救急病棟の一体化を図る。
- ・医療ニーズ変化や法改正等、柔軟な対応できるように、部屋や会議室の多いゆとりのある間取りとする一方、間仕切りなどもフレキシビリティのある構造とする。
- ・院内物流の一元化、中央センター化やバーコードの導入など在庫管理のシステム化を図り、効率的なシステムを導入する。

(3) 来院者が落ち着き、癒やされる院内環境の充実

- ・病室や廊下・ロビーなど、全体を通じて明るく開放的でゆったり落ち着ける施設を目指す。
- ・個室の増加やプライバシーの確保など、患者の利便性・快適性を高める施設とする。
- ・外来・入院患者の動線、スタッフの動線を意識しそれぞれ分離出来る設計とする。

(4) 職員確保のための労働環境の充実。

- ・仮眠室・休憩室等の当直環境および院内ボランティアや臨床学習者の控え室を確保する。
- ・院内保育所の充実（24時間保育、病児病後児保育など）を図る。

IV 事業計画

1 運営形態

- ・現在、地方公営企業法の一部適用による運営方式を採用している厚木市立病院では、近年の医療環境の変化に柔軟に対応し、より戦略的な病院経営を実現するため、新病院では近隣公立病院の動向を見据えながら、地方公営企業法の全部適用による運営方式を目指す。
- ・平成24年4月1日から地方公営企業法の全部適用とし、事業管理者を設置した。
- ・事業管理者は経営に必要な「人・金・物」に関する権限を掌理すると同時に経営責任を負うこととなる。経営状況が悪い場合は罷免されることとなる。
- ・給与額の決定、一部適用の場合は人事院勧告を基に条例で決定する。全部適用の場合は事業管理者と労働組合との交渉による。

新病院の職員定数

	病床数	地方公営 企業法	職員数内訳（人）					合計
			医師	医療技術職	看護職	事務職	その他 (調理員、看護補助など)	
現定数	356	一部	55	41	261	33	0	390
新定数	345	全部	67	76	362	35	0	540
増 減			12	35	101	2	0	150

2 整備手法

- ・施設整備手法については、従来の直営方式とPFI方式があるが病院PFIについてはまだまだ導入事例が少なく、特に稼働している例は少数のため、PFI方式は導入しないものとする。

3 整備スケジュール

- ・施設の基本設計・実施設計は2年間の事業として一括で委託することとする。
- ・施設設計については現地建て替えで現施設を稼働しながらの工事となるため。5箇年（実質48ヶ月前後）の工事を見込み、平成29年4月に開院する計画とする。
- ・ただし、医療需要への対応や医療従事者確保の観点から、工法については出来るだけ短縮を図り、開院時期を可能な限り前倒しするものとする。

市立病院整備スケジュール

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
運営システム設計	運営システム設計							
施設設計プロポーサル	プロポーサル							
施設基本設計・実施設計	基本設計・実施設計							
建設業者決定			業者決定					
建設工事			建設工事					
新病院開院								開院
外構・駐車場						工事		
医療システム						計画策定	システム開発	調達・訓練
物品管理システム						計画策定	仕様書決定	契約・調達
医療機器関連			計画策定			仕様書決定	契約・調達・訓練	
什器・備品調達			計画策定			仕様書決定	契約・調達	

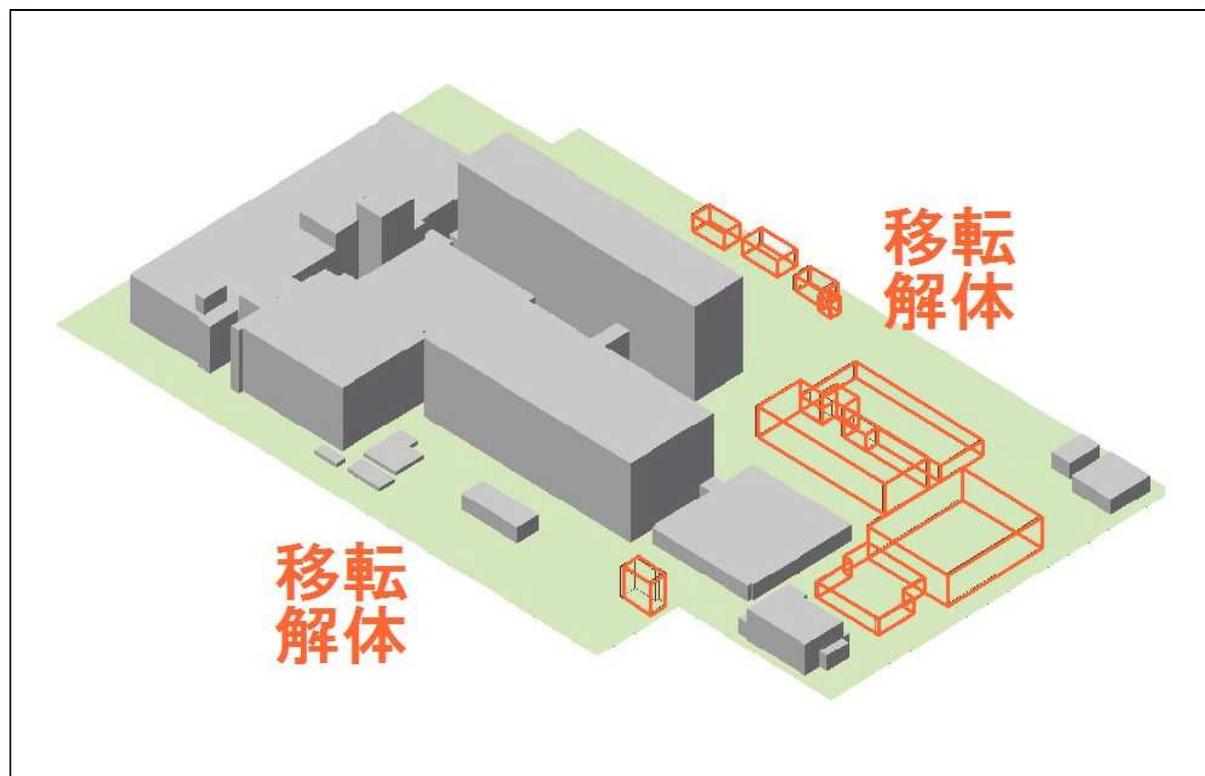
3 新病院建設工事工程について

新病院建設経過

平成22年 4月	厚木市立病院整備基本計画策定
平成23年 3月	新病院基本設計策定
平成24年 1月	既存施設(東病棟・会議棟)解体工事に着手
平成24年 3月	新病院実施設計策定
平成24年 10月	新病院建設工事着手
平成25年 3月	新病院オイルタンク、液酸タンク、RI排水処理施設 完成
平成27年 3月	新病院建設第Ⅰ期工事完成、救急手術棟及びA棟(外科系病棟)オープン 新病院建設第Ⅱ期工事着工、RI棟、南棟解体工事着手
平成27年 6月	RI棟、南棟解体完了
平成28年 11月	新病院建設第Ⅱ期工事完成、外来診療部門、HCU、B棟(内科系病棟)オープン 新病院建設第Ⅲ期工事着工、本館、外来棟解体工事着手
平成29年 9月	本館、外来棟解体工事完了
平成29年 11月	新病院建設第Ⅲ期工事完成
平成29年 12月	新病院建設工事完了、全面オープン 27診療科 計347床(一般319床。ICU6床、CCU4床、HCU12床、感染症6床)

既存施設(東病棟・会議棟)解体工事に着手

既存施設解体工事

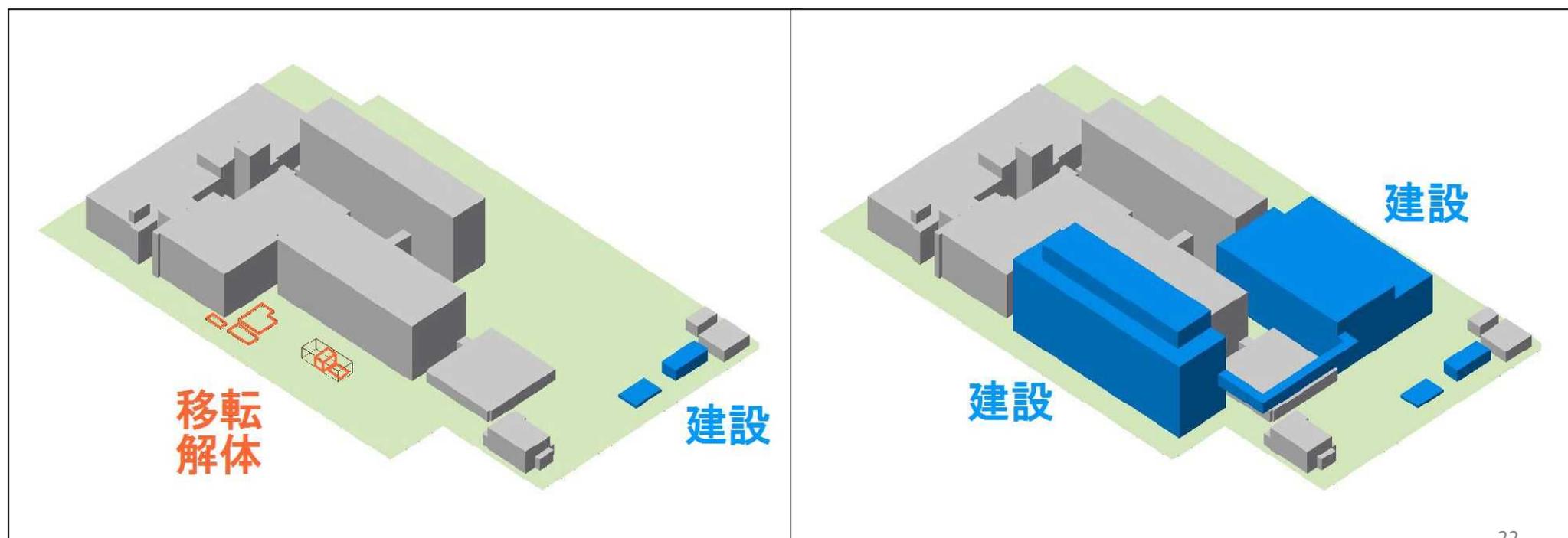


新病院建設工事着手

新病院オイルタンク、液酸タンク、RI排水処理施設 完成

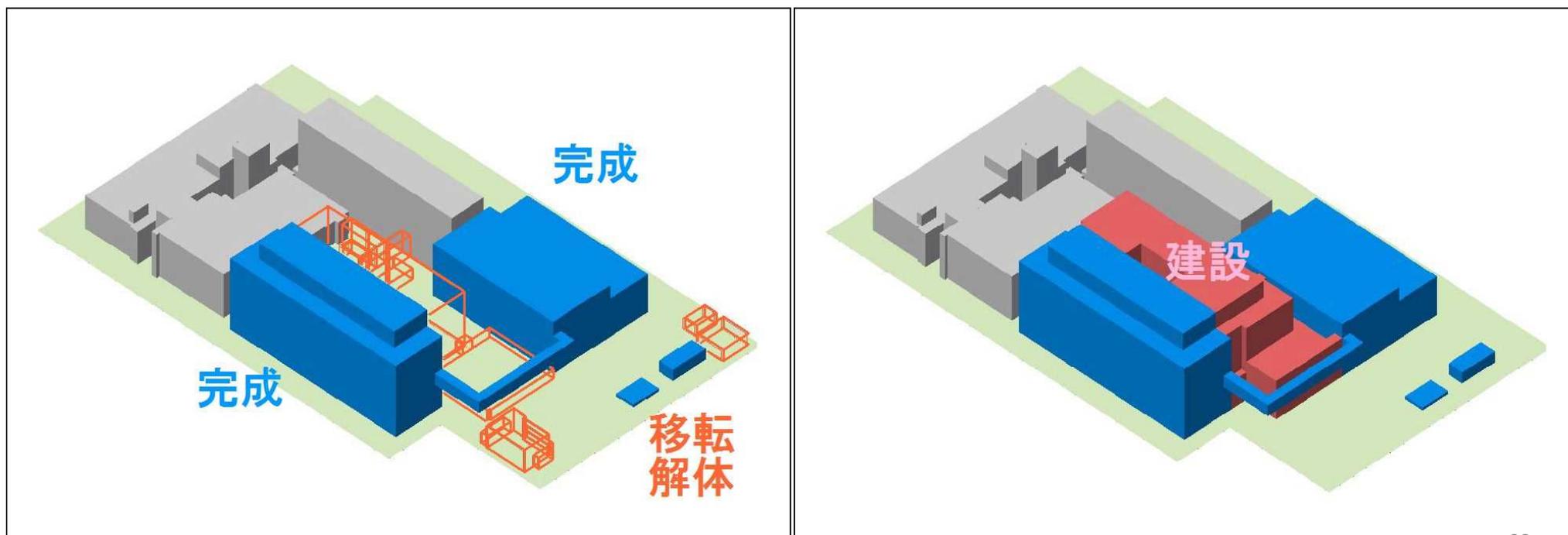
第Ⅰ期工事完成、救急手術棟及びA棟(外科系病棟)オープン

第Ⅰ期工事



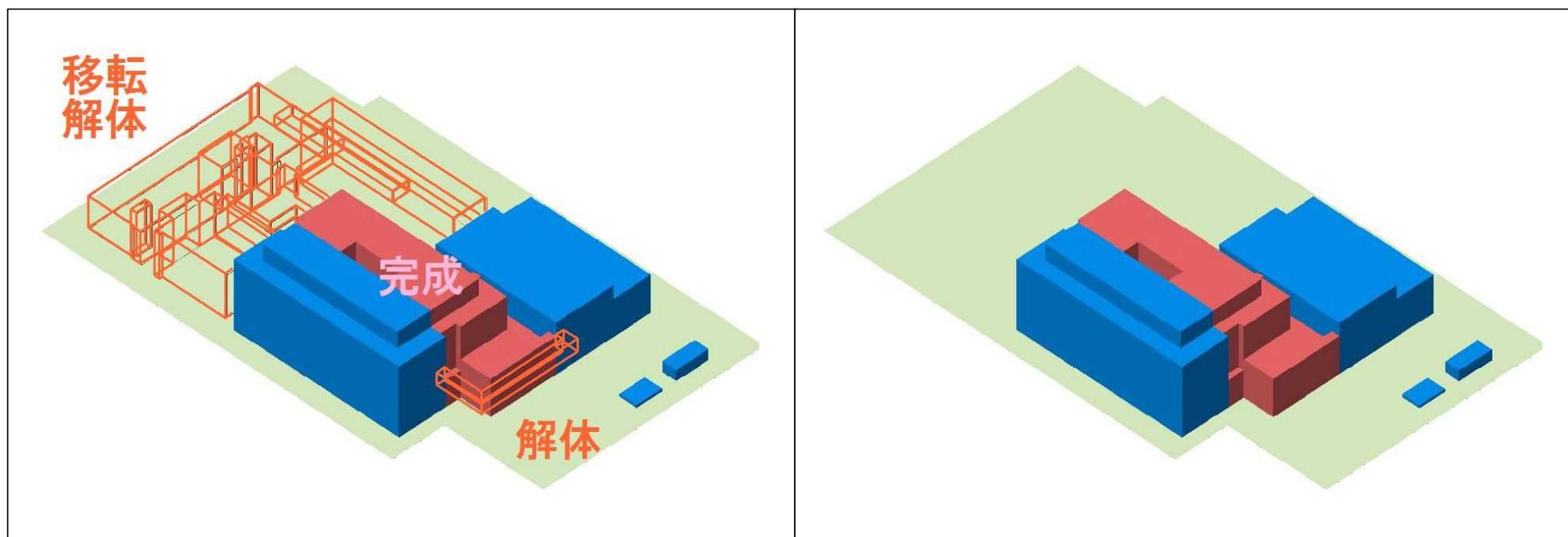
第Ⅰ期工事完成、救急手術棟及びA棟(外科系病棟)オープン
第Ⅱ期工事着工、RI棟、南棟解体工事着手、RI棟、南棟解体完了
第Ⅱ期工事完成、外来診療部門、HCU、B棟(内科系病棟)オープン

第Ⅱ期工事・既存施設解体工事



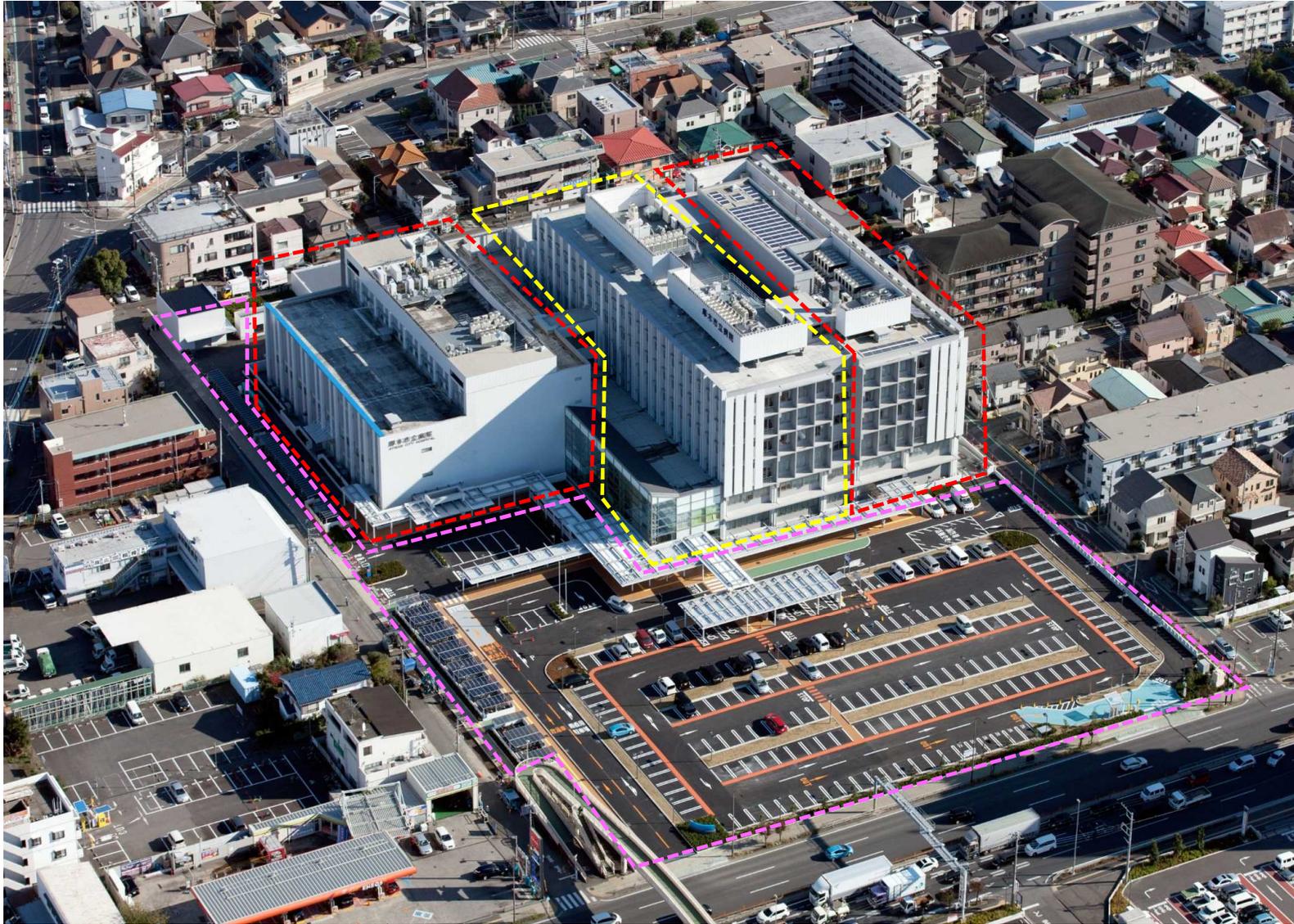
第Ⅲ期工事着工、本館、外来棟解体工事着手、
本館、外来棟解体工事完了
第Ⅲ期工事完成

外構工事





外観（航空写真）



外観（航空写真）

新病院建設工事完了、全面オープン 27診療科 計347床
(一般319床。ICU6床、CCU4床、HCU12床、感染症6床)



外観（国道側）



放射線治療機器（リニアック）



手術室（ハイブリッド）



病室（4床室）

4 新病院における経営改善の取組みについて

基本理念と基本方針

市民の皆様に信頼される医療を提供する病院

安全で良質な医療の提供

- ①急性期医療の充実
- ②がん診療の充実
- ③糖尿病・高齢者の診療の充実
- ④小児・周産期医療の充実
- ⑤災害拠点病院
- ⑥地域医療連携

良質な医療の提供



安定した経営

健全経営

公共性・経済性を考慮した
病院経営

真心のこもった医療の提供

患者中心の医療の提供
職員が誇りと責任をもって働ける
環境づくり

優れた人材の育成

新病院の病床数

	新病院	旧病院	増減
一般病床	319床	346床	-27床
ICU	6床		+6床
CCU	4床		+4床
HCU	12床	4床	+8床
感染症病床	6床	6床	
合計	347床	356床	-9床
手術室	8室	6床	+2床

<減少要因>

- ・少子化の進展による分娩件数予測等から産婦人科(産科)の入院患者の減少
- ・傷病内容の変化に伴う形成外科、耳鼻いんこう科等における入院患者の減少



<増加要因>

- ・がん、脳卒中、心筋梗塞などの増加に対応した内科、外科系診療科の充実
- ・救急医療充実に向けたICU・CCU病床の整備



5 診療実績

区分		H26	H27	H28	H29	H30
入院	患者総数	85,047	89,482	89,180	97,509	96,257
	1日平均	233	244	244	267	264
	単価	53,927	57,197	57,260	57,099	59,568
病床利 用率	パーセント (病床数)	80.5% (304)	80.4% (304)	76.1% (347)	77.0% (347)	76.0% (347)
外来	患者総数	159,922	166,748	165,115	169,316	179,270
	1日平均	655	686	682	694	735
	単価	11,551	12,563	13,167	14,087	14,985
救急	受入れ件数	9,727	9,588	9,253	9,727	9,253
	救急車搬送 件数	3,886	4,029	4,161	4,418	4,335
手術	件数	3,318	3,451	3,311	3,535	3,802
分娩	件数	174	190	242	242	225